

だいち

地域に生きる

編集者：蓮田太陽の里
「だいち」広報委員会
〒349-0101
埼玉県蓮田市黒浜1045-1
TEL 048-764-3881
FAX 048-764-7788
H P <http://minuma-hukushi.com/>

夜長肉



書：関口 忠司

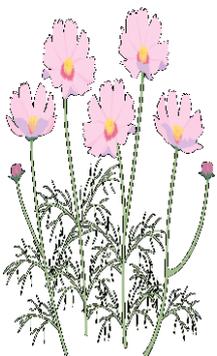
巻頭コラム

いきいきフェスティバル

10月28日「やさしいいきいきフェスティバル」がありました。昨年は台風で中止になってしまいました。今年は天候に恵まれ参加することができました。大地からは煮たまご、玉こんにゃく、綿あめ、ジュース、授産製品を販売しました。仲間は残念ながら販売に行くことはできませんでしたが、私が大地を出る前に、仲間から「頑張つてね!」と応援してもらえました。

職員は北隅さん、野村さん、山木とボランティアさんで販売を行い活気のある接客になりました。煮たまご、玉こんにゃくは見事完売!大きい綿あめを嬉しそうに受け取るお客様が印象的でした。

山木沙良(職員)



横浜一泊旅行

11月14～15日に横浜一泊旅行に行ってきました。参加した仲間には安藤正幸さん、鈴木潤さん、清原玉枝さん、田村美弥さん、家族は清原さん、職員は松崎さん、安藤さん、山木さん、野村の合計9名でした。当日は天気も良く旅行日和でした。まずは赤レンガ倉庫の「ビアガーデン」というオシャレなお店で昼食を取りました。洋食がメインのお店で、ナポリタンやオムハヤシ、パスタなどみんな思い思いの料理を注文し楽しく食べました。

1時間程お土産を見たり散策してすぐ中華バイキングで夕食を食べました。大地の食事でも登場するような食べ物から、名前も聞いたことのないような中華料理まであり飲んで食べてと楽しい時間を過ごしました。

二日目は川崎市にある藤子・F・不二雄ミュージアムに行きました。ドラえもんやコロ助といった人気のキャラクターの資料や展示物がたくさんありました。

二日目の昼食は海老名サービスエリアへ移動しフードコートで食べました。平日だということにたくさんのお客さんがいました。建物内にはパンやラーメン、洋食などがあり、外では屋台のジャンクフードのお店が並んでいました。人気だったのはメロンパンで、世界で一番売れているメロンパンだ

そうです。お腹一杯食べて帰りの車内ではみんなさすがに疲れたのか口数も少なく車内はとても静かでした。それとも楽しかった旅行が終わってしまうのが寂しかったのでしょうか。



今回の旅行も本当に良い旅行となりました。しかし旅行というものは不測なトラブルがつきものです。1日目の昼食では予約していた料理が出てこなかったり、夕食を予約していたはずのお店がリニューアル工事中で、同じチェーンの店

に案内されたものの遠くまで歩かされた挙句に店内はとても狭いなどいろいろありました。トラブル続きで企画した者としてはヒヤヒヤすることも多くありましたが、仲間と家族、職員がフォローしてくれたお陰で、事故や怪我もなく無事に帰ってくる事が出来ました。

野村 勇作 (職員)



ふれあいコンサート

11月1日(木)に埼玉県障害者音楽交流推進協議会 埼玉地域のふれあいコンサートが蓮田市の文化ホール、ハストピアで開催されました。参加団体は、黒浜訓練センター、羽生にある、空と雲の家作業所、にじ、大地でした。

大地からは、関谷さん、関口さん、白幡さん、神永さん、土屋莉恵さんが参加しました。9月の音楽療法のセッション後からコンサートの練習が始まったのですが、「練習があるから早く、お風呂に入っちゃうんだ」と、練習を楽しみにしている神永さんや、莉恵さん。その二人とは逆に「次回の練習は参加しにくす」とマイペースな関谷さんに関口さん。それぞれのペースで練習を楽しみながら頑張っていました。

舞台では、一曲目は、ゆずの栄

光の架け橋。二曲目はミッキーマウスマーチを演奏しました。一曲目は、音積み木や、ベル、マラカス、鈴などを順に持ち替えて様々な楽器を演奏する為、大忙しでしたが、音楽療法の先生の合図とピアノを良く聞きながら思い思いに頑張っていました。他の団体の発表や全体合唱も手拍子をしたり、とても楽しんでいた様子でした。

コンサートに参加された皆さんお疲れ様でした。

池沢 宏美 (職員)



みぬまのチカラ学習会

10月27日、プラザイーストで第2回みぬまのチカラ学習会が行われました。川口にできる新しい入所施設開設もあり、今回の学習会は「暮らし」について学び合う内容となりました。講師にNPO法人日本障害者センター理事長の峰島厚先生を迎え、「みぬまのチカラから考える入所施設の役割と課題」というテーマで、入所施設は大切な役割を担っているということ、今回のみぬまの川口の新しい施設づくりの運動をみぬまだけのものにせず、地域や社会に広げ、みんなのものにしていく必要性があるという話がされました。

パネルディスカッションでは、川口市民の会の川名光男さん、川口太陽の家家族の菅家はるみさん、川口太陽の家支援員の高橋実さん、

大地の植村施設長が、暮らしの場への期待や課題などについてそれぞれの立場から意見を交換しました。新しい入所施設は川口太陽の家の近くにできるため、知っている仲間や職員が近くにいることや一緒に暮らすことで安心して暮らせる仲間も多いのではないかと話や、太陽の里、大地の今までの実践やみぬまの歴史をしっかりと引き継いでいくことが大切であるという話がされました。

現在、川口の新しい入所施設の建設工事がすでに始まっています。そして暮らしの場づくりの運動はまだまだ続いています。たくさんの人の思いを結集させて、みんなの願いをかたちにしていきましよう。

中村 智恵 (職員)

障害福祉職場に働く職員の全国大会

11月17～18日に愛知県名古屋
市で障害福祉職場に働く職員の全
国交流集會が行われ、組合のみぬ
ま分会を代表して堀江が出席させ
て頂きました。内容としては「出
産・子育てと職務との両立が出来
る職場づくりに向けての提言」や
「働き続ける職場作り」などのし
ポート発表を軸に話し合ったり、
就労支援A型事業所の実態につい
て勉強したりしました。

いろいろな地域の福祉の仕事で
働く人達の話聞いて、とてもい
い機会になりました。埼玉は決し
て恵まれている環境ではないと
思っています。地域によっては
もっとひどい地域がたくさんある
など肌で実感しました。今回東海
地区で行なわれた全国集會ではこ
の仕事してから2年目の若い職員

が自ら実行委員長やりたい、と立
候補して仕切っていたのにはとて
も驚きました。

この福祉の世界で働く一人の人
間として、同じ職種で困っている
人達のために何か出来ないか、と
いう気持ちが行って感じてられ
たのはとてもよかったと思ってい
ます。みぬま福祉会の仲間と職員
のためだけでなく、全国の福祉関
連の方々のために、まずは小さな
組合活動から参加していこうと思
いました。

堀江 正人（職員）



川口太陽の家まつり

11月18日、日曜日「太陽の家
祭り」に行って来ました。例年よ
り一週間ほど早く行われた祭りで
すが、開催時刻の十時前から近隣
の方々が大列になり、会場である川
口北高校の正門前に並んでいた事
にまず驚かされました。

会場時刻になって、門が開けら
れると、お客さん達は他の模擬店
などに目を奪われる事無く、バ
ザー会場にその列のまま向かって
行った事に益々驚きました。

さて、大地のお店も負けず劣ら
ず盛況でした。お昼頃までは暖か
な天候にも恵まれて、持参した
ジュースや缶コーヒー類五箱分も
売り切れ。諸岡さんの販売活動も
慣れたものでした。実は、たくさ
んの方々が店に寄ってくれたのは、
引き寄せる魅力を持った商品が店

先に並んでいたからなのです。

「こりゃあく立派なブロッコリー
だ」「このキャベツ重たい」等、
離れた所から見に来てくれる方も
多くいらっしました。

祭り前日、小坂井さんのお母さ
んから電話があり「野菜を寄付す
るから、みんなのお給料の足しに
してね、持って行くからね。」と
のご厚意を頂きました。

あるお客さんは「まあ〜ほれば
れる」と大絶賛のブロッコリー
でした。

高崎 隆夫（職員）



第42次国会請願署名・募金運動

【障害福祉についての法制度拡充を求める請願】

第42次国会請願署名・募金運動キャンペーン

署名・募金にご協力をお願いします

きょうされんは結成以来、障害福祉についての制度拡充を求めるため、【国会請願署名・募金運動】にとりくんでいます。常に障害のある人たちの立場に立ちながら、制度化を訴えてきたこの署名運動は、今年で42年目となります。障害があっても…「あたりまえに働きえらべるくらしを」を実現させるために、署名と募金へのご協力よろしくをお願いします。

■請願趣旨

日本政府が障害者権利条約を批准して5年が経とうとしています。障害者差別解消法などの法制度が整備された一方で、障害のある人の権利を侵害するような事例も次々と明るみに出ています。

旧優生保護法による強制不妊手術は障害のある人の尊厳を踏みにじるものでした。全国各地で違憲訴訟が提訴され、国の責任が問われようとしています。

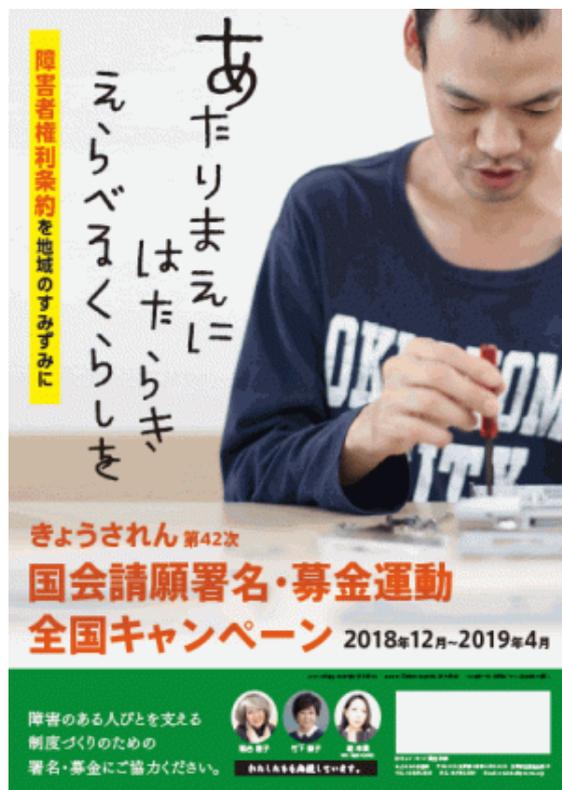
また2018年度障害者福祉サービスの報酬改定では、就労継続支援事業所において、工賃を稼げることが高い評価の対象になるなど、障害の重い人や安定して働くことが困難な人の権利を奪いかねない仕組みとなりました。新たに導入された「共生型サービス」も社会保障費抑制が主目的であり、障害のある人への支援の質の低下が懸念されます。

そして中央省庁などによる障害者雇用水増し問題は、障害のある人たちへの働く権利の侵害に他なりません。今必要なのは、障害者権利条約を地域のすみずみにひろげ、障害のない他の者との平等を基礎とした法制度を実現することです。そのために少なくともOECDの平均並みに障害福祉予算を引き上げることが欠かせません。以上を踏まえ、次の項目について請願をします。

■請願項目

1. 中央省庁等による障害者雇用の水増し問題を究明するとともに、障害のある人の働く場をひろげ、必要な支援等を制度として確立してください。
2. 障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、希望する暮らしを支える制度（グループホームやヘルパー制度など）を拡充してください。
3. 障害のある人が65歳を超えても必要とする制度を自ら選んで使えるよう、介護保険優先原則を廃止してください。
4. 地域活動支援センターが安定した運営をできるよう、国の責任で実態を調査し、制度を拡充してください。
5. 事業所の深刻な人手不足の解決に向けて、働く職員の労働条件を引き上げるために報酬制度を抜本的に改善してください。

*署名にご協力を下さる方、署名用紙が必要な方は施設まで連絡をください。



なかまと

みんなの

輪



近野茂治の
今月のイイネ!



クリスマスプレゼントのいい
ものにいったよ。
なにをかったかはおたのしみ



詩のコーナー

ちがももかの

りゆうさんのこ

りゆうさんのこをかきます
りゆうさんはいつもみんなを
よくみていました

あしをあけてへんじをしてくれました
みんなにたくさんおんじかしてました
りゆうさんがよくよくしました
もっとたくさんはあしをきいてかいて
かなしいことをしてさんねんです
30.11.20



やいまして
みんなまで

2018年11月16日(土)

ねほろばきりし

おじいさんじいさんを見て

みせよう



まりこの 素敵な日常

おとうさんとまことくんのダンスをみてきました。かっこよかったです。

まりこ



おすすめ
のみんな

ちゅうがくせいがいちにけんがくにきました。だいちでのせいかつについてはなしました。よかったです。

りえ

ボランティア 募集

ウエス・古本・バザー品の

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

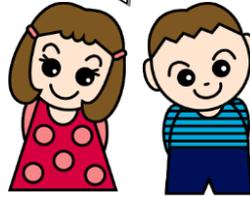
②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。是非ご協力をお願いします。

①ボランティア担当（面来、松崎）

②ウエス、古本担当（野村、北隅）

ありがとう
ございました!



（順不同）

岩上 めぐみ様

30年11月度に寄付して下さいました方

ありがとうございました

大地の12月の予定

| | | |
|------|-----|--------------------|
| 1 | (土) | 家族会、採用試験 |
| 5 | (水) | 黒浜中学校 福祉教育学習会 |
| 7 | (金) | 黒浜中学校 福祉教育学習会 |
| 16 | (日) | 発達保障講座学習会 |
| 21 | (金) | 打ち上げ クリスマス会 |
| 22 | (土) | 職員会議 |
| 26 | (水) | 第16回生活保護違憲 訴訟裁判 |
| 冬季休み | | 12/29 (土) ~1/6 (日) |
| 冬プロ | | 12/23 (日) ~1/6 (日) |

四方山話

よもやまばなし
みんなのおしゃべり広場

今月の担当：高橋 茂奈美

私の友達が結婚するということで、彼女の独身最後の日を一緒に過ごさせてもらうという重役を先日果たしました。彼女とは保育園の頃から知っており、小学校で同じクラスになって以来大親友です。中学では大喧嘩をして泣きあったり、高校では進学先は違えど、互いの悩みや恋の話に花を咲かせ…それは現在も変わっていませんが(笑)そんなわけで独身最後の男遊びをしてやろう!とマッスルBARという筋肉ムキムキの人達がたくさんいるBARに行く予定だったので結局怖くて行けず。大衆居酒屋で昔の話などを語り明かす夜となりました。翌日、二人は無事に入籍しました。いつまでも幸せでいてほしいものです。

課業より

「書」の活動は夏休みがあつて約一ヶ月近くは出来なかつたり、活動がある日でも仲間の送迎や受診等があり合同ウエスになることや、のんびりになる日が多くなかなか「書」の活動ができませんでした。最近では合同ウエスの時に「書」、「さをり」の方に力を入れるようにしてもらった為少しずつ仲間の作品が進んでいます。仲間自身が納得できる作品を時間をかけて完成するのを待ってもらえると嬉しいのです。

松本 啓(職員)



<広報だいち>広報委員会(職員) 面来・安藤・岡部・小原・高篠
(仲間) 田村・神永・土屋莉恵・関口・近野・戸谷